



SONIC CITY

2024 SERIES ●

2:00pm, November 9th (SAT),
2024

146

ソニックシティ 2024 シリーズ 第 146 回さいたま定期演奏会
2024年 11月 9日(土) 午後2時開演 / ソニックシティ 大ホール

第146回さいたま定期演奏会 日本フィルハーモニー交響楽団

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op.18 (約33分)

Sergei RACHMANINOV: Concerto for Piano and Orchestra No.2 in C-minor, op.18

～休憩(20分)～

リムスキー＝コルサコフ

交響組曲《シェヘラザード》op.35 (約42分)

(ヴァイオリン・ソロ：木野雅之 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター])

Nikolai RIMSKY-KORSAKOV: Symphonic suite "Sheherazade" op.35

(Violin solo: KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster)

指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

Conductor: KOBAYASHI Ken-ichiro, Honorary Conductor Laureate

ピアノ：小山実稚恵

Piano: KOYAMA Michie

コンサートマスター：木野雅之 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：門脇大樹 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello

主催

公益財団法人埼玉県産業文化センター／さいたま市／日本フィルハーモニー交響楽団

後援

埼玉県／埼玉県教育委員会／さいたま市教育委員会／埼玉県吹奏楽連盟

協賛

武蔵野銀行

表紙作品提供

埼玉県立新座総合技術高等学校 デザイン専攻科 八木澤 千弘

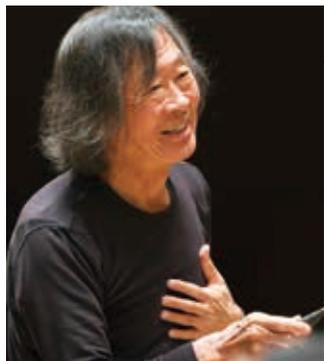
作品名「拍」

作者コメント「拍をテーマに初作しました。色や模倣を最低限にすることによって音楽の無現の可能性を表しています。」

【アンケートのお願い】 今後のソニックシティ主催公演参考のため、アンケートへのご協力をお願いいたします。アンケートにお答えいただきました方から抽選で3名様に本日の出演者・小林研一郎氏、小山実稚恵氏のサイン色紙をお送りいたします。右の二次元コードより、スマートフォン・タブレットからお答えください。(所要時間約5分)



▶全てのプログラムが終了した時写真撮影が可能になりました。撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。是非、コンサートの感動を多くの方と分かち合っていただければと存じます。(SNS等への投稿の際は、#ソニックシティの追加をお願いします)



© 山本倫子

指揮：小林研一郎

東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。1974年第1回ブタベスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。

これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。

ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章（同国で最高位）等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ローム ミュージック ファンデーション評議員等を務める。

公式ホームページ：<https://maestro-kobaken.com/>



©Hideki Otsuka

ピアノ：小山実稚恵

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキーコンクール、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、数多くの演奏会にソリストとして指名されている。2016年度芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した『12年間・24回リサイタルシリーズ』や『ベートーヴェン、そして...』が、その演奏と企画性で高く評価された。22年からはサントリーホール・シリーズ<以心伝心>を開催中。ショパン、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなど国際音楽コン

クールの審査員も務める。また、被災地活動の一環として『こどもの夢ひろば"ボレロ"』を仙台にて開催している。CDは、ソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び、33枚をリリース。最新アルバム『モノローグ』まで7作連続して「レコード芸術」特選盤に選ばれる快挙を果たした。著書として『点と魂と』、また平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』を出版している。05年度 文化庁芸術祭大賞、13年度 東燃ゼネラル音楽賞本賞およびレコード・アカデミー賞受賞。17年度紫綬褒章を受章。

語 ～世界に向けられた語りに耳を向ける～

ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op.18

19世紀末から20世紀前半にかけて、稀代の名ピアニストと同時に、作曲家としても活躍した、ロシアのセルゲイ・ラフマニノフ(1873-1943)。自身、没落貴族の家に生まれ、帝政ロシアの落日を若き日に体験することとなった彼は、そうした「不安の時代」を映し出す濃厚な人間感情を描いた作風で、音楽史に大きな足跡を残した。

そんなラフマニノフの代表作の中でも、1900年から01年にかけて作られた『ピアノ協奏曲第2番』は、とりわけ良く知られている。この直前、彼は勝負をかけて作った『交響曲第1番』の初演の失敗やそれに伴う酷評によって、一時は音楽家としてもはや活動不能なほどの精神的ダメージを受けていた。だが周囲の積極的な助けもあり、再起をかけるべく作られたのが、『ピアノ協奏曲第2番』である。

葬送の鐘の音を模した第1楽章冒頭に始まり、切なさや憧れ(特にそれが顕著に表れるのが、映画『逢引き』にも用いられた第2楽章である)が激しく交差した末、第3楽章の終結部分における圧倒的な凱歌に至るといって、きわめて劇的な内容。それが、少年時代から卓越したピアニストでもあったラフマニノフが、それまで自らが獲得してきた全てのノウハウを傾注した技に裏打ちされている。

悪夢を乗り越え、新たな世界に羽ばたこうとしたラフマニノフの切実な願いを密かに語った『ピアノ協奏曲第2番』は、センセーショナルな成功を取める。またこれが転機となり、ラフマニノフは欧米各地で活躍するようになるが、それは混乱の一途を辿る祖国からやがて彼が去るという皮肉な出来事にも繋がって行ってしまった…。

リムスキー＝コルサコフ 交響組曲《シェヘラザード》op.35

このラフマニノフよりも、ほぼ1世代前に活躍し、ロシア音楽の発展に大きく貢献した音楽家の1人が、ニコライ・リムスキー＝コルサコフ(1844-1908)である。その彼が1888年に完成させたのが、交響組曲『シェヘラザード』。オーケストラの色彩感や多様性を極限まで押し出した作品として知られ、オーケストラ演奏会の花形的存在である。

シェヘラザードとは、『千一夜』(『アラビアンナイト』)の語り手として登場する女性。女性不信に陥り、初夜を共にした女性を次々と殺し続ける残忍な王の心を和らげるべく、彼女が王に対して毎晩のように語った物語を中心に、2人の関係の変化が音楽によって描かれてゆく。全体は次の4つの部分から成っている。

第1曲目:冒頭に表れるいかめしく恐ろしい主題が王を、それに続いて、ハーブの伴奏に乗って独奏ヴァイオリンが奏でる凛とした美しさを湛えた主題がシェヘラザードを象徴している。やがてうねるような海の様子を表す音型にのって、シンドバットの航海をテーマにしたシェヘラザードの物語が始まる。

第2曲目:巧みな物語をおこなって生き延びたシェヘラザードは、王にさらなる話をきかせる。それが、諸国行脚の苦行僧に身をやつた王子の話であり、彼が知られざる相手と出会うことによって生じる様々な騒動が描かれる。

第3曲目:次にシェヘラザードは、若い王子と王女の愛の物語を始める。王子を表す憧れと優しさに満ちたヴァイオリンの主題に続き、中間部ではダンス風の主題に乗って、クラリネットが快活な王女の旋律を表現する。

第4曲目:第1曲目の冒頭を思わせる王とシェヘラザードの主題が、その時以上にのっぴきならぬ様子で示された後、彼女が語る「バグダッドの祭り」の話が激しく奏でられる。そして、これまで登場した様々な主題も回想されながら、曲はさらに激しさを増し、その頂点で荒れ狂う波に呑まれる船の難破の場面に変わる。すべてが消え去った後、独奏ヴァイオリンがシェヘラザードの主題を交えつつ、王の中に、さらには王とシェヘラザードの間に生じた慈しみと愛が、しみじみと描かれてゆく…。

〈アート〉と音楽 その④

2024年シリーズのコラムでは、新座総合技術高校デザイン専攻科の生徒のみなさんによるロビー装飾にちなんで、造形芸術と音楽との関係についてご紹介いたします。

『千一夜／アラビアンナイト』とアート



『シェヘラザードと王』
マリー・エレオノール・ゴドフロワ作 1842年頃

「アラビアンナイト」の原型は、8世紀頃固まったといわれている。これがヨーロッパ経由で世界に大きく広まるきっかけを作ったのが、フランスの東洋学者アントワーン・ガラン（1646-1715）という人物。彼は1704年、アラビア語の写本を基にフランス語に翻訳したテキストを、『千一夜』というタイトルで出版し、各国にブームを巻き起こした。さらにこれを受けて、1706年には英語による『アラビアンナイト・エンターテイメント』まで出版され、これもまた世界中で翻訳されていった。

なお、元々この物語はアラビア語で「千夜と一夜」という名称として伝えられていたものの、ガランが翻訳の際に用いたアラ

ビア語の写本には282の物語しかなかった。そこでガランや彼に続く他の翻訳者は、本当は1001の物語があるはずだと考え、足りない分については次々と物語を追加した。結果、交響組曲『シェヘラザード』にも登場するシンドバッドの冒険をはじめ、アラジンと魔法のランプ、アリババと40人の盗賊、空飛ぶ絨毯など、元々のアラビア語の写本になかった話が『千一夜』の多くを占めることとなった。

しかも18世紀から19世紀にかけては、ヨーロッパがアラブをはじめとする非ヨーロッパ世界を支配し、植民地化してゆく状況が起きていた。そうした中で、アラブはヨーロッパに比べて未開の、だが当のヨーロッパにはない妖しい魅力にあふれた世界と見なされてゆく。そうした中で、凶暴な王を前に、知性はもとより、その妖艶さによって彼の心をとらえていったシェヘラザードは、エロスとエキゾティックの2つの要素を具えた存在として、ヨーロッパの人々の心をとらえてゆくこととなった。（なおシェヘラザードと王の物語自体は、アラビア語の写本にも登場する。）

このように、オリジナルとは様々に異なる「改変」を経ながら、『千一夜／アラビアンナイト』ブームが巻き起こる中、その世界を描いた絵画や音楽作品もおびただしく生まれていった。交響組曲『シェヘラザード』にかぎらない。この時代のヨーロッパのアートシーンに欠かせないテーマの1つこそが、ヨーロッパ的な味付けを施された『千一夜／アラビアンナイト』だったのである。

第146回さいたま定期演奏会に寄せて

この度は第146回さいたま定期演奏会の開催を心よりお慶び申し上げます。

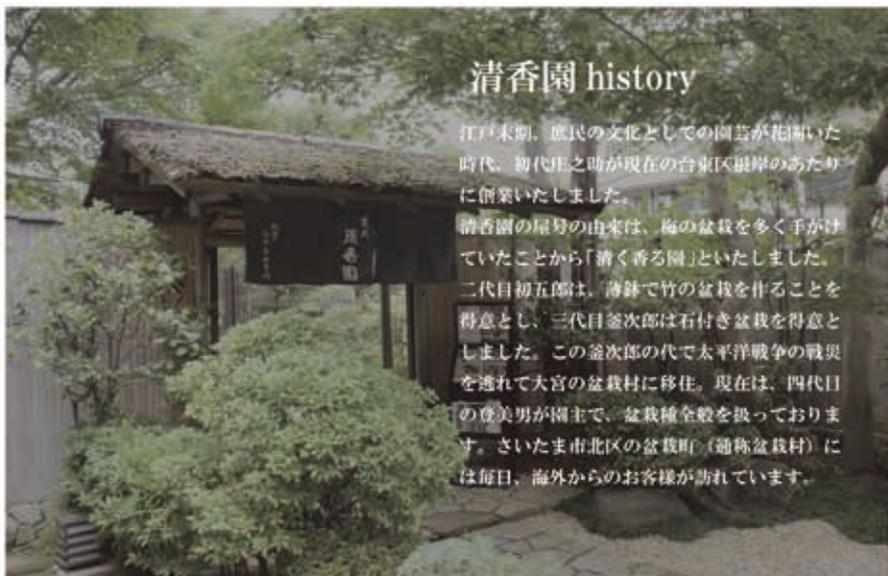
今回、ステージ左側には樹齢約150年の五葉松（ゴヨウマツ）を展示させて頂きました。五葉松は古くから縁起の良い木として親しまれてきた日本固有種の樹木でございます。本作は模様木という、左右にうねった幹の動きを見どころとする王道の樹形に仕立てております。模様木は最も調和のとれた形でもあり、その堂々とした立ち姿からは、生きてきた時代の永さを感じ取ることができます。

右側には、樹齢約100年の山査子（サンザシ）を展示させて頂きました。山査子は薬用として、江戸時代に日本に持ち込まれた中国原産の樹木でございます。春には白い花を咲かせ、秋には赤い実をつけます。本作も例年通り実をつけ、四季がたしかに移ろいでいくことを感じさせてくれます。

オーケストラの演奏と、盆栽の景色の調和をお楽しみいただけましたら幸甚に存じます。

盆栽清香園 山田寅幸





清香園 history

江戸末期、庶民の文化としての園芸が花開いた時代、初代庄之助が現在の台東区根岸のあたりに創業いたしました。

清香園の屋号の由来は、梅の盆栽を多く手がけていたことから「清く香る園」といたしました。

二代目初五郎は、薄鉢で竹の盆栽を作ることを得意とし、三代目釜次郎は石付き盆栽を得意としました。この釜次郎の代で太平洋戦争の戦災を逃れて大宮の盆栽村に移住。現在は、四代目の登美男が園主で、盆栽種全般を扱っております。さいたま市北区の盆栽町（通称盆栽村）には毎日、海外からのお客様が訪れています。

お客様に一番身近な「窓口」としての 専門店を目指して

盆栽園という枠組みに捉われず、
お客様に寄り添う専門店を実現していきます。



日本フィル・ソニックシティ
「第九」演奏会2024
2024 **12.13** FRI
開場18時 開演19時

指揮：下野竜也
ソプラノ：富平安希子 アルト：小泉詠子
テノール：糸賀修平 バリトン：宮本益光
合唱：埼玉第九合唱団
曲目：ニコライ／歌劇「ウインザーの陽気な女房たち」序曲
ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱」

©Naoya Yamaguchi

©YOSHINOBU FUKAYAaura







公演詳細



日本フィルハーモニー交響楽団
第147回さいたま定期演奏会
2025 **1.11** SAT
開場13時 開演14時

指揮：沼尻竜典 ヴァイオリン：三浦文彰
曲目：ブラームス／ヴァイオリン協奏曲
ドヴォルジャーク：交響曲第9番「新世界より」

©RYOICHI ARATANI

©Yuji Hori




公演詳細



日本フィルハーモニー交響楽団
第148回さいたま定期演奏会
2025 **3.15** SAT
開場13時20分 開演14時

指揮：梅田俊明 バレエ／牧阿佐美バレエ団
曲目：プロコフィエフ／バレエ「ロミオとジュリエット」
ソニックシティ特別版

©K. Miura




公演詳細



会場：ソニックシティ 大ホール

■チケット価格（単独券）「第九」、「バレエ」公演の価格は通常公演とは異なります。
S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys（19歳以下）：2,000円（2025.1.11）
S：7,000円 A：5,500円 B：4,000円 Ys（19歳以下）：2,000円（12.13/2025.3.15）
ホールメンバーズ、チョイス券など、各種割引あり。

RENAISSANCE CLASSICS

西本智実「ノスタルジー」
with 三浦祐太郎
—山口百恵名曲集—

2024年12月7日（土）開場14時 開演15時 特製プログラム付 プラチナ：9,000円 ペアチケット17,000円（全席指定）
会場：ソニックシティ 大ホール S：7,500円 ペアチケット14,000円（全席指定）
【お問い合わせ・お申込み】048-647-7722（平日9時～17時）




長らくさいたま定期演奏会のプログラムの表紙をデザインしているのが、埼玉県内の専門学生であることをご存じでしょうか？本公演の表紙は珍しく、白と黒のシックなデザインで「拍（はく／リズムや音数の単位の意）」が表現されています。

そんな埼玉県立新座総合技術高等学校デザイン専攻科の生徒がロビーを装飾する様々な試みが、第145回さいたま定期演奏会（2024年9月13日）にて初披露となりました。企画から制作まで生徒が行い、ついにお披露目されたロビーを彩る様々なく（アート）について制作者のコメントと共にご紹介させていただきます。

ポスター装飾



制作：田波^{たなみ}さん、中村^{なかむら}さん

会場には特別感を出すため普段のポスターにひと工夫しました。

お客様は演奏会の日を何日も前から楽しみにしていて、いつもよりおめかしする方が多いと思うので、会場も少しおめかしして気持ちを合わせられたらと考えています。

記念撮影などにもピッタリだと思います。

また、日常生活で装飾されたポスターを見る機会はありませんので、目新しさを感じてもらえればいいと思います。

ステンドグラス



制作：漆崎^{うるしざき}さん、金城^{かねしろ}さん、竹下^{たけした}さん

「オーケストラが持つ重厚なイメージ」と「大宮の魅力」。二つの要素をまとめられるのは、ステンドグラスではないでしょうか。

オーケストラとステンドグラスの起源は、ともにヨーロッパです。ステンドグラスを使用することで、ヨーロッパの重厚な歴史の踏襲を示しており、同じ起源を持つオーケストラにふさわしいと考えました。

また、その模様が大宮の魅力である「盆栽」「てっぱく」「ソニックシティ」を組み込むことで、二つの要素をまとめられるのです。

階段アート



制作：木代^{きしろ}さん、菅田^{すがた}さん、並木^{なみき}さん

オーケストラを代表するヴァイオリンと指揮者の手を描きました。影をつけて個々が見やすくなるような工夫をしました。

背景はソニックシティのイメージカラーである青色を配色して五線譜は金色に塗ることで、コントラストを生み出しかつ重厚感を演出しました。

細い線は音の旋律や盆栽の年輪をイメージしています。

Sonic Dance Stage

2025.2.1 sat

～生演奏で踊るダンスイベント～

2025年2月1日(土)14:00 @ソニックシティ大ホール
 全席自由 一般:3,000円 Ys(19歳以下):2,000円
 048-647-7722(平日9時～17時)

【主催】公益財団法人埼玉県産業文化センター
 【後援】埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会
 【協力】株式会社アルフォ

坂戸高校 久喜工業高校 伊奈学園総合高校 越ヶ谷高校
 ヒューマンキャンパスのぞみ高校 大宮商業高校 浦和商業高校
 草加東高校 西武学園文理中学・高校 朝霞西高校 杉戸高校
 常盤高校 上尾南高校 川口市立高校 栄北高校 埼玉栄高校



杉戸高校



埼玉栄高校



久喜工業高校



上尾南高校



川口市立高校



常盤高校



伊奈学園総合高校



草加東高校



坂戸高校



西武学園文理中学高校



浦和商業高校



大宮商業高校



越ヶ谷高校



ヒューマンキャンパスのぞみ高校



栄北高校



朝霞西高校

【Live Music】



Music Salon 音楽～おとしづく～

【Opening】



Saitama Old-School DANCE CLUB

【Guest】

KO-ney

AKAI Professional
 オフィシャルMPCプレイヤー
 フィンガードラマー
 ビートメイカー

ソニックダンスステージ前夜祭
 会場：武蔵野銀行本店2F
 「M's SQUARE」
 期間：2025年1月(予定)
 内容：SDS2024の動画放映
 写真展示



SONIC CITY

クラウドファンディング

【期間：2024年10月31日～2025年1月15日】
 お好きなペアチケットやオリジナルグッズもあります！
 皆様のご支援よろしくお願いたします！



日本フィルハーモニー交響楽団

2025年1月演奏会



©ZUZANNA SPECIAL

SHIROHIKO MATSUI



©Asahi Ho

©Shin Yamaguchi

指揮：山田和樹
ヴァイオリン：周防亮介
エルガー：行進曲《威風堂々》第1番
ヴォーン・ウィリアムズ：掲げひばり
エルガー：交響曲第2番

1/17, 18, 1/25 公演：好評発売中 1/26 公演：2024年10月25日(水)発売
【1/17, 18, 25 公演】S ¥3,500 A ¥7,000 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,500 Ys (15歳以下) ¥2,000
【1/26 公演】S ¥6,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,500 Gs (10歳以上) ¥5,000 Ys (5歳以下) ¥2,000
Gs・Ys は5歳以上から観えます

指揮：藤岡幸夫
フルート：Cocomi
武満徹：組曲《波の盆》
モーツァルト：フルート協奏曲愛2番
ルグラン：交響組曲《シェルブールの雨傘》

2025. **117** (金) 19:00
サントリーホール
18 (土) 14:00
サントリーホール

2025. **125** (土) 17:00
横浜みなとみらいホール
126 (日) 14:00
東京オペラシティコンサートホール

※未成年者の入場はご遠慮ください。託児サービスがございます。※出演者、曲目等は変更される場合がございます。予めご了承ください。

お申込み
お問合せ

日本フィル・サービスセンター

TEL: **03-5378-5911** / e チケット: <https://eticket.japanphil.or.jp>

(平日 10時~17時)



More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために



武蔵野銀行